

## 単元名 (書写)書き初めを書く

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 中学校での書写学習のまとめとして、行書について理解することができる。また、行の中心や全体の調和を理解して、字形を整えて配列よく書くことができる。  
(3) 中学校での書写学習のまとめとして行書について理解を深め、意欲的に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

12210305\_001

【教材名】「友好の精神」「真理の探究」

(P. 137～P. 140)

【準備等】書き初め用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 点画の連続と変化の筆使いを理解し、一字一筆で、字形を整えて書く。</p> <p>○「友好の精神」をこれまでの学習を生かして書くことを知り、本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★点画の連続と変化を理解して、一字一筆で、字形を整えて書こう。</p> <p>○筆脈を意識して、「友好の精神」を半紙に試し書きをする。</p> <p>○筆脈を意識して、半紙に練習する。</p> <p>○試し書きと教材文字を対比しながら、基準を確認する。</p> <p>○課題に沿って練習し、自己批評をする。</p> <p>○半紙に本時のまとめ書きをし、自己評価をする。</p> <p>○次時は書き初め用紙に練習することを知り、後片付けをする。</p> <p>2 書き初め用紙に、行の中心や配置を工夫して、字形を整えて書く。</p> <p>○前時の学習を確認する。</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★行書の特徴や配列を理解して書こう。</p> <p>○「友好の精神」の配列の特徴を理解する。</p> <p>○全体の配列を意識し、書き初め用紙に試し書きをする。</p> <p>○試し書きと教材文字を対比しながら、基準を確認する。</p> <p>○書き初め用紙に書く上での基準を確認し、課題を見つける。</p> <p>○課題に沿って練習し、自己批評する。</p> <p>○まとめ書きをし、試し書きと比較して自己評価する。</p> <p>3 行書学習のまとめとして、配列に注意し、全体の調和を考えて書く。</p> <p>○前時の学習を確認する。</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★配列に気をつけて、全体の調和を考えて書こう。</p>	<p>・教材は生徒の実態や興味に合わせて、選択したり展開を工夫したりする。教科書(p. 137～p. 140)には、書き初め語句例が掲載されている。</p> <p>・行書の学習を生かし、半紙に書き初めの語句の練習をすることを伝える。</p> <p>・行書の筆使いについて、教材の特徴を捉えるように促す。</p> <p>・筆脈を捉え、一字一筆の流れを理解するよう促す。</p> <p>・連続を意識して、一字一筆で書くよう促す。</p> <p>・基準は、以下のとおりである。</p> <p>①筆脈の確認 点画の連続、点画の変化</p> <p>②字形 一字一筆で書き、字形を整える。</p> <p>・教材の基準を確かめ、自己の課題を設定するよう指導する。</p> <p>・半紙に練習し、自己の課題に沿って1枚ごとに批評をするよう促す。</p> <p>・机間指導をし、個別に支援する。</p> <p>・自己の課題を再認識するよう指示する。</p> <p>・試し書きと比較させる。</p> <p>【評】点画の連続と変化を理解して、一字一筆で字形を整えて書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・前時は、点画の連続と変化を理解した上で、一字一筆で、字形を整えて書いたことを確認する。</p> <p>・前時の学習をもとに、書き初め用紙に練習することを伝える。</p> <p>・5文字の大きさ、書き初め用紙に対する配列を判断するよう指示する。</p> <p>・用紙の折り方を工夫して、配列を考えるよう促す。</p> <p>・中心線を入れ、全体を四つ折りにする。</p> <p>・基準に付け加えるのは以下のとおりである。</p> <p>③配列の工夫 行の中心をそろえる。文字の大小に注意する。字間を意識する。</p> <p>・教材の基準を確かめ、自己の課題を設定するよう指示する。</p> <p>・課題に合う練習用紙が選べるよう指導する。</p> <p>・机間指導で個別に支援する。</p> <p>・自己評価を再認識するよう指示する。</p> <p>【評】行書の特徴や配列を理解して書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教材に対する自己の課題を確認するよう指示する。</p> <p>・配列、配置に注意し、全体の調和を考えて仕上げることを伝える。</p>

- 前時のまとめ書きに小筆で学年と氏名を書き、基準を確認する。
- 試し書きと教材文字を比較しながら、基準を確認する。

- ・小筆で学年と氏名の文字を書くために、配置を考えるよう指導する。
  - ・基準は、以下のとおりである。
    - ①配列の視点  
各文字の大きさの違いを意識する。字間に気を付ける。行の中心をそろえる。氏名は用紙の中ほどから書き出す。
    - ②小筆の文字  
まとめ書きとして仕上げていく際に、小筆の役割を意識し、文字の大きさに注意する。
  - ・全体の調和を考えて仕上げるために、自己の課題を見つけるよう促す。
- ・配列に関わる課題を意識し、まとめ書きに向けての練習をするよう指示する。
- ・机間指導をし、個別に支援する。
- ・教科書(p. 137)の振り返ろうに記入する。
- 【評】行書のまとめとして、配列に注意し、全体の調和を考えて仕上げる活動を通して、「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】

そして、第2学年までに学習した行書の技法を、日常の書写活動に進んで生かしていくようにさせる。また、相互評価や互いの作品を鑑賞することを学習活動の中に取り入れていけるとよい。